

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成31年2月14日 (2019.2.14)

【公開番号】特開2018-197270(P2018-197270A)

【公開日】平成30年12月13日 (2018.12.13)

【年通号数】公開・登録公報2018-048

【出願番号】特願2018-171042(P2018-171042)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/4184 (2006.01)

A 6 1 P 9/12 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/4422 (2006.01)

A 6 1 K 9/20 (2006.01)

A 6 1 K 9/30 (2006.01)

A 6 1 K 9/36 (2006.01)

A 6 1 K 9/32 (2006.01)

A 6 1 K 47/26 (2006.01)

A 6 1 K 47/38 (2006.01)

A 6 1 K 47/02 (2006.01)

A 6 1 K 47/36 (2006.01)

A 6 1 K 47/32 (2006.01)

A 6 1 K 47/12 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/14 (2006.01)

A 6 1 K 47/18 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2017.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/4184

A 6 1 P 9/12

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 K 31/4422

A 6 1 K 9/20

A 6 1 K 9/30

A 6 1 K 9/36

A 6 1 K 9/32

A 6 1 K 47/26

A 6 1 K 47/38

A 6 1 K 47/02

A 6 1 K 47/36

A 6 1 K 47/32

A 6 1 K 47/12

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/14

A 6 1 K 47/18

A 6 1 K 47/34

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月11日 (2018.12.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) イルベサルタン、

(b) D-マンニトール及び結晶セルロースからなる賦形剤、並びに

(c) ヒドロキシプロピルメチルセルロース、ヒドロキシプロピルセルロース及びポリビニルアルコールからなる群から選ばれる 1 種又は 2 種以上からなる結合剤、

を含有する医薬組成物における前記イルベサルタンの配合変化及び / 又は色相変化の誘発を防止するための、前記 D-マンニトール及び前記結合剤の組み合わせの使用であって、

前記医薬組成物が、(d) アムロジピンまたはその塩、及び、(e) クロスカルメロースナトリウム及び / 又は低置換度ヒドロキシプロピルセルロースからなる崩壊剤をさらに含み、前記イルベサルタンの含量が $4.8 \text{ w/w} \% \sim 65 \text{ w/w} \%$ であり、前記アムロジピンまたはその塩の含量が $1 \text{ w/w} \% \sim 10 \text{ w/w} \%$ であることを特徴とする、使用。

【請求項 2】

前記医薬組成物が、ステアリン酸マグネシウムである滑沢剤をさらに含む、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 3】

前記賦形剤の含量が、 $10 \text{ w/w} \% \sim 50 \text{ w/w} \%$ である、請求項 1 又は 2 に記載の使用。

【請求項 4】

前記結合剤の含量が、 $0.01 \text{ w/w} \% \sim 10 \text{ w/w} \%$ である、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 5】

前記崩壊剤の含量が、 $1 \text{ w/w} \% \sim 20 \text{ w/w} \%$ である、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 6】

前記医薬組成物が、フィルムコーティング層をさらに含む、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 7】

前記医薬組成物が、黄色三二酸化鉄及び / 又は酸化鉄からなる着色剤をフィルムコーティング層にさらに含む、請求項 6 に記載の使用。

【請求項 8】

前記医薬組成物が、ヒドロキシプロピルメチルセルロース、酸化チタン及び / 又はプロピレングリコールからなる群から選ばれる 1 種又は 2 種以上を前記フィルムコーティング層にさらに含む、請求項 6 又は 7 に記載の使用。